

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	生涯学習推進事業	5-5
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1 4
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	生涯学習部社会教育課	直通電話	72-3173
担当部長	飯尾徹	担当課長	清水雅季
		担当者	板谷英郁

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	[まちづくり出前講座] 【プログラムバンク事業】市民や団体を講師とする講座プログラム情報をリストした「まちづくり出前講座の市民版」となる市との協働事業 「生涯学習推進アドバイザー」の活用(第2種非常勤職員人件費)		
(2)事業開始年度	不明	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	5 心豊かに学びいきいきと活動するまち	
	施策項目(大)	(1)生涯学習の推進	
	施策項目(小)	学習機会の整備充実	
	施策コード	50102	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	だれもが自由に学習機会を選択しながら、生涯にわたって学び続けられる環境を整え、自己実現を図りながら充実した人生を送ることができるようにする。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	できるだけ多くの市民に、「まちづくり出前講座」や「プログラムバンク事業」を利用してもらう。 プログラムバンクをより充実させるため、新たな「プログラム」の登録を目指す。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	学習・講座情報を積極的に市民に発信する。 市民に「プログラム」バンクの登録を促す。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	全国的に、団塊世代の大量退職とそれによって加速される高齢化社会を迎えての生きがいづくりが必要とされている。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	プログラムバンク事業は、登録された市民講師と市教委との協働により運営している。

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	4,804	3,668	1,798	1,744
(2)その他の間接経費(千円)	0	0	0	0
(3)従事正職員の人件費(千円)	863	1,657	1,794	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	5,667	5,325	3,592	
事務に従事した正職員延べ人数	0.10	0.20	0.20	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収	区分	H17	H18	H19	H20予算	支	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)										
入	計(B)	0	0	0	0	出	計	0	0	0	0
	(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
「まちづくり出前講座」のメニュー数	目標値	66	76	72	60
	実績値	66	62	62	
	達成率	100.0	81.6	86.1	
「生涯学習アドバイザー」の人数(人)	目標値	2.5	2	2	1
	実績値	2	2	2	
	達成率	80.0	100.0	100.0	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
「まちづくり出前講座」利用回数(回)	目標値	66	62	62	62
	実績値	28	30	46	
	達成率	42.4	48.4	74.2	
「まちづくり出前講座」利用者数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	895	1,407	1,423	
	達成率	-	-	-	
「プログラムバンク」登録数(件)	目標値	30	30	100	100
	実績値	33	33	33	
	達成率	110.0	110.0	33.0	

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい	ア 施策との関連	1 密接な関連がある
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか	2 普通	事業の成果と施策の成果とに関連があるか	2 関連がある
	3 小さい		3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない	イ 成果	1 すべて達成している
その事業に市が関与する必要があるかどうか	2 民間等でもできる	事業の成果は目標を達成しているか	2 一部達成している
	3 民間等でやるべき		3 達成していない
(2) 効率性		ウ 事業内容	1 極めて妥当
ア コスト削減	1 不可能である	目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か	2 一定の妥当性あり
コスト削減は可能か	2 難しい		3 妥当性が低い
	3 可能である		
(3) 公平性		(1)~(4)の評価ポイント合計	
ア 受益者負担	1 不可能である	総合評価の参考にしてください。	
さらなる受益者負担は可能か	2 難しい	7~11	A or B
	3 可能である	12~15	B or C
		16~21	D or E
		11	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		「まちづくり出前講座」の利用が伸びるなど、全体として良好であるが、「プログラムバンク事業」は停滞ぎみであることから何らかの対応が必要である。市民協働の進展により、「生涯学習アドバイザー」の負担が大きくなっている。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		「まちづくり出前講座」は引き続き継続していく。「プログラムバンク事業」は利用が促進されるよう、市民協働事業の中で制度の見直しを進める。今後より必要とされる「生涯学習アドバイザー」の増員を検討していく。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容		
	現状維持 一部見直し 大幅見直し		
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
20年6月に発足した市民組織「いしかり学びをつくる会」を中心に石狩型の「生涯学習システム」の構築を目指す中で、「プログラムバンク事業」の改良を進める。			

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		「まちづくり出前講座」の利用が伸びているが、プログラムバンク登録数が変化しておらず、対応が必要である。	
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		「プログラムバンク事業」については、市民協働の中で制度の見直しが必要である。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)	事業内容		
	現状維持 一部見直し 大幅見直し		
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
「生涯学習システム」の構築を目指す中で、「プログラムバンク事業」の見直しを行う。			